

# 令和 7 年シラス曳網調査結果 (第 12 報)

令和 7 年 9 月 2 日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

9 月 1 日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 9m)、141-05E(水深 29m)、  
141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

## 3 調査手法

調査指導船拓水、中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網(船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

26.3℃～27.8℃

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 11～516 尾(合計 595 尾)

今回のシラス採集数は前回調査時(8 月 25 日、6～544 尾、合計 760 尾)と比較し、減少しました。

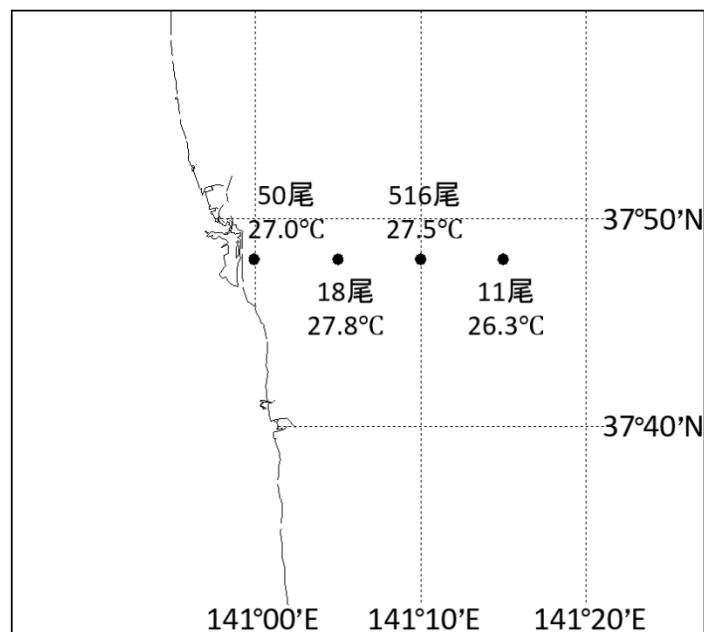


図 1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：7.5～31.2mm

全長16mm前後、25mm前後の群のシラスが採集されました。

141-00Eでは15mm前後の群のシラス、141-05Eでは10mm程度のシラス、141-10Eでは25mm前後の群のシラス、141-15Eでは10mm程度、20mm程度のシラスが採集されました。

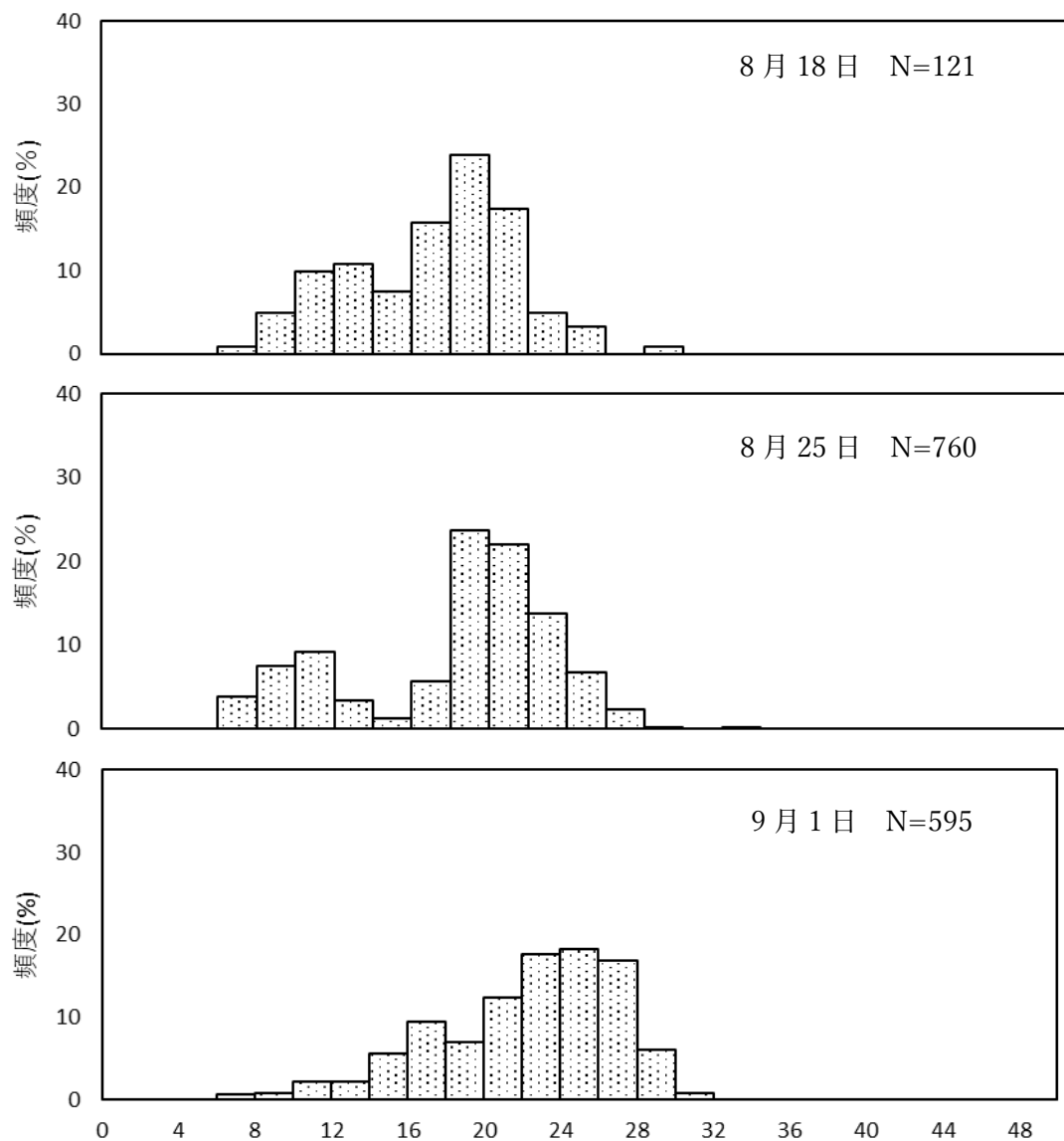


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図 3、4)

令和 7 年 9 月の 1 定点あたりのシラス採捕数は 148.8 尾/定点で、平成 18 年以降で 5 番目に多い結果となりました(図 3)。なお、福島県の年別シラス漁獲量を図 4 に示します。

今年は 1 月にいわき地区で約 6 t、相双地区で約 36 t の水揚げがありました。また、いわき地区では 6 月 9 日、相双地区では 8 月 18 日より漁が行われています。

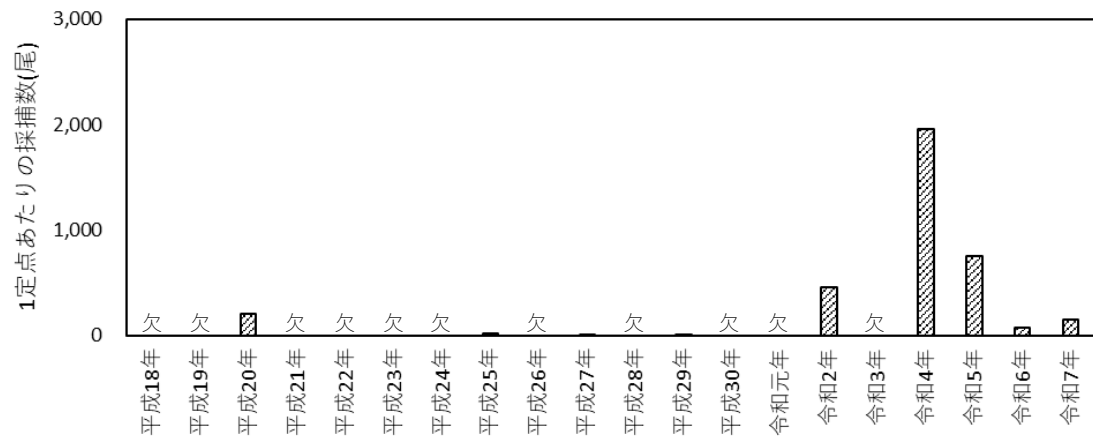


図 3 相馬海域における 9 月の 1 定点あたりの採捕数

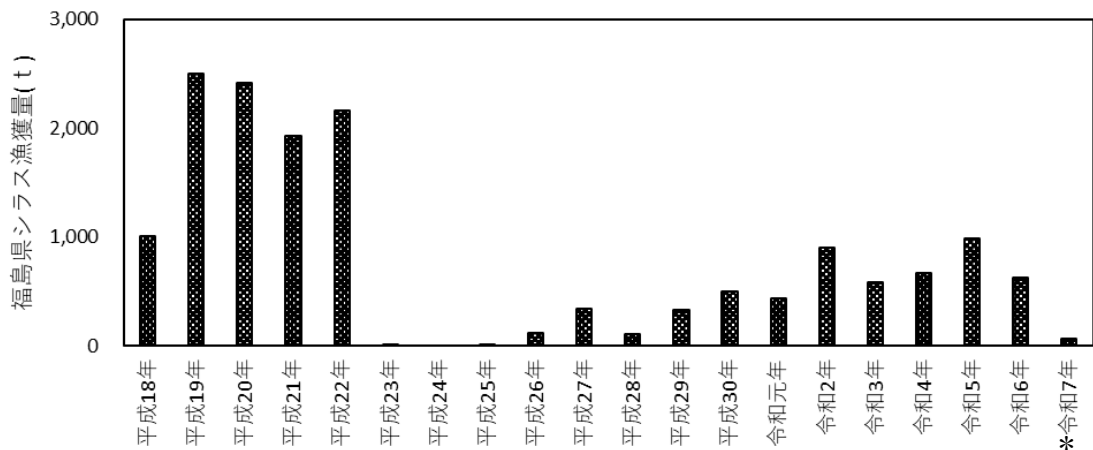


図 4 福島県の年別シラス漁獲量

\* 7 月 31 日までの速報値